〈参　考〉 集落中心における施策

解決を図る課題

集落中心の生活サービス機能の維持と田園環境の保全

○集落中心における一定の生活利便やコミュニティの確保

○空き家の増加に伴う景観・防犯・衛生面の悪化

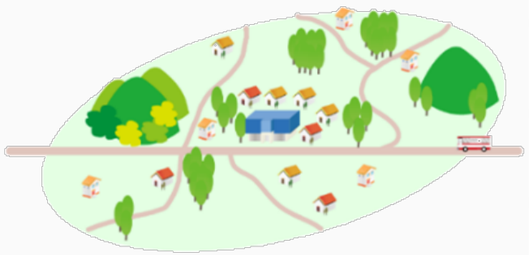
○農業の担い手不足等による耕作放棄地の増加

まちづくりの方針（ターゲット）

集約市街地の形成
～美しい田園都市づくり～

『田園生活・交流の中心となる集落の形成』

【集落中心の形成・維持のイメージ】



現在の状態

集落中心を形成・維持した状態

集落中心の具体的な課題

＜過疎の進行＞
生活利便性の低下に伴い，人口が流出している状況。

＜空家の発生＞
人口減少等に伴い，空き家が発生している。家屋の老朽化や生活利便性の低下により，新規入居が進みづらい状況。

＜公共交通の連携と維持改善＞
市民バスと他の交通機関との連携とニーズに見合った運行が必要な状況。また，路線維持のため，発着地や「乗り継ぎ拠点」を踏まえた改善が必要な状況。

＜農業生産基盤の脆弱化＞
担い手不足のさらなる進行により農業生産システムを支える基盤への影響が懸念される。

＜田園景観の保全＞
空家の発生や，耕作放棄地等の増加により，田園景観の悪化が懸念される。

課題に対応する施策の方向性・施策例

■移住・定住の促進
・地域の特性を生かした移住，定住への支援を検討

■市民バスの利便性の向上
・都市中心部と地域中心部の拠点を結ぶ市民バス，ＪＲ，地域内交通等の乗り継ぎ強化や，通院，通学，買い物等，利用者ニーズに見合った運行ルート・ダイヤ調整等の改善を検討。

■農業システムの担い手確保・育成
・担い手育成支援組織の連携による支援情報の一元化
・有機栽培をはじめとする環境保全型農業による就農者支援プログラムの実施
・CSA の更なる普及に向けた都市住民の農業支援事業の実施
※CSA：Community Supported Agricuiture 消費者が支える農業の意

■農業農村の価値化と共に支え合う仕組みづくり
・米の認証制度の確立に向けた制度設計の検討
・6 次産業化推進セミナー等の多様な担い手の育成を目的とした商品開発，起業支援

■農村・田園景観の維持・再生
・景観計画を用いた魅力的な農村景観，美しい田園景観の維持・再生の取り組みに対する支援を検討